

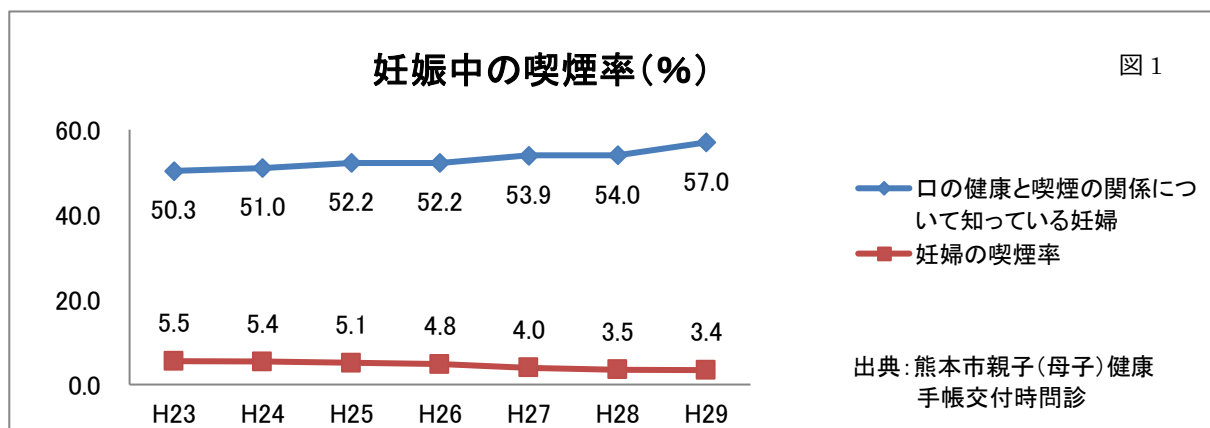
## 歯科保健の現状と主な取り組みについて

### 胎児期及び妊娠期

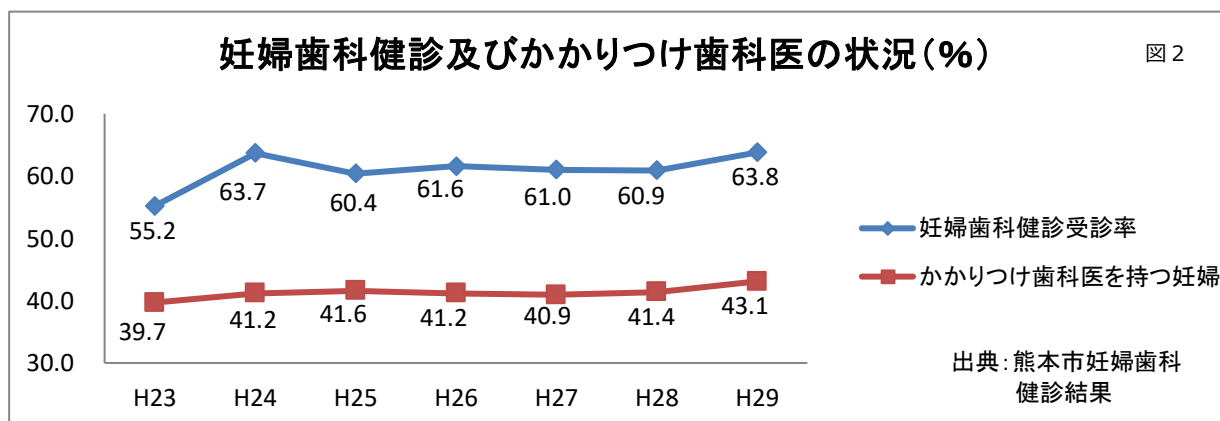
【目標】 口腔の健康を通して、健やかな妊娠生活を支援します

No.	指標項目	H23	H29	中間評価 (H30)	目標値 (H34)	最終目標値(案) (H35)
1	口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	50.3%	57.0%	↑ a	75.0%	75.0%
2	妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	3.4%	↑ a	0%	0%
3	妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	63.8%	↑ a	75.0%	75.0%

#### ◆現状

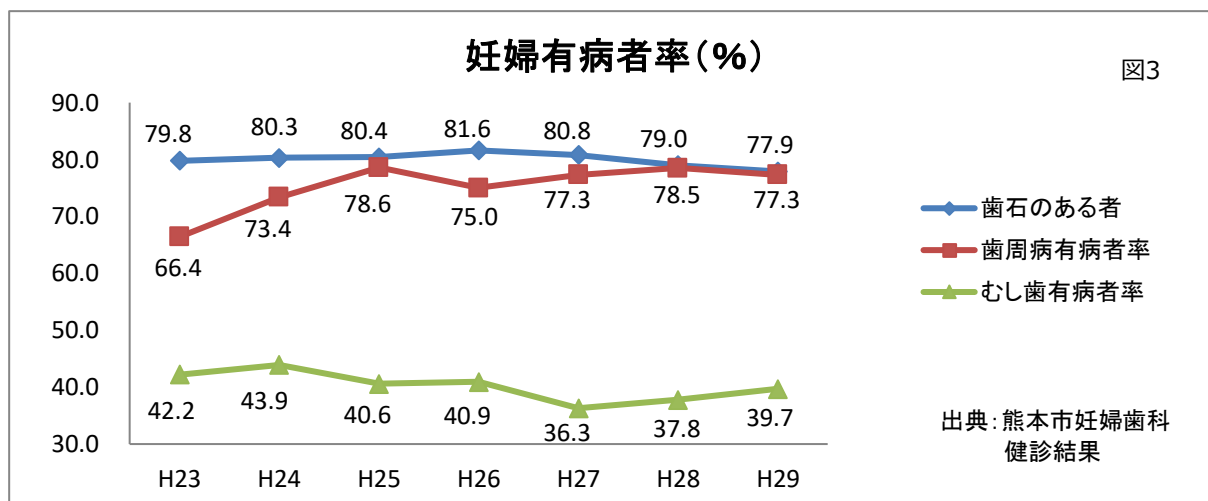


・口の健康と喫煙の関係について知っている者は増加傾向であり、妊娠中の喫煙は減少傾向である。



・妊娠中に歯科健診・指導を受ける者は、約 6 割程度である。

・かかりつけ歯科医をもつ人の割合は、約 4 割程度である。



- ・妊婦がむし歯を保有しているのは4割程度である。
- ・歯石がある者は77.9%であり、歯周病を有する者は77.3%である。
- ・歯科受診が必要な者は、経年的に約8割程度である。

#### ◆これまでの主な取り組み

妊婦歯科健診及び口腔保健指導を受ける者の増加に取り組み、妊娠中から乳幼児期に必要な口の健康づくりに関する情報を提供し、健やかな妊娠生活を支援する取り組みを実施している。

##### (1) 歯科の啓発

- ・早産や低体重児出生、喫煙、歯周病との関連性などの情報提供を実施
- ・妊娠中からの定期的な口腔管理の必要性に関する啓発を実施
- ・口の健康と低体重児出生及び喫煙・受動喫煙の関係について情報提供

##### (2) 口腔保健指導・健康教育の充実

- ・妊婦歯科健診の際の口腔保健指導や歯科健康教育を充実
- ・妊婦歯科健診受診率向上に向けて、区役所における妊婦歯科健診日以外の対応を実施

##### (3) 関係機関・団体との連携

- ・歯科健診受診者増加に向けて受診勧奨のチラシを歯科医師会が作成し、産科医療機関において配布
- ・医師会の協力のもと産科医療機関において、3回目の妊婦健康診査時に歯科健診未受診者への受診勧奨を実施

※妊婦歯科健診受診の有無は、親子健康手帳の「妊娠中と産後の歯の状態」を確認し、歯科健診未受診者には、妊婦の定期的な口腔管理について説明する。

産婦人科の妊婦健康診査において、歯科健診の受診を勧めた場合は、3回目の妊婦健康診査受診票の「歯科健診のすすめ」にチェックを入れる。

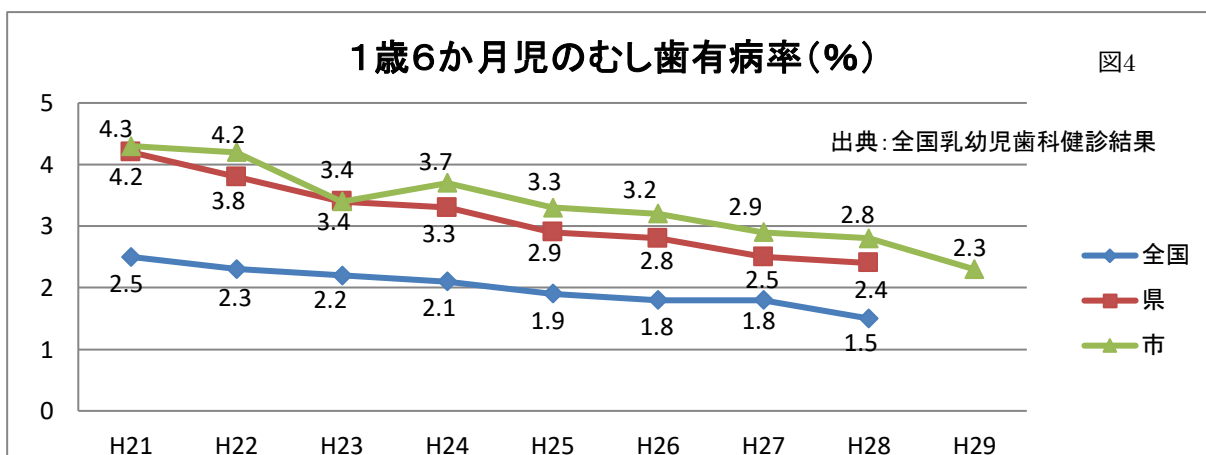
**乳幼児期**

**【目標】 乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援します**

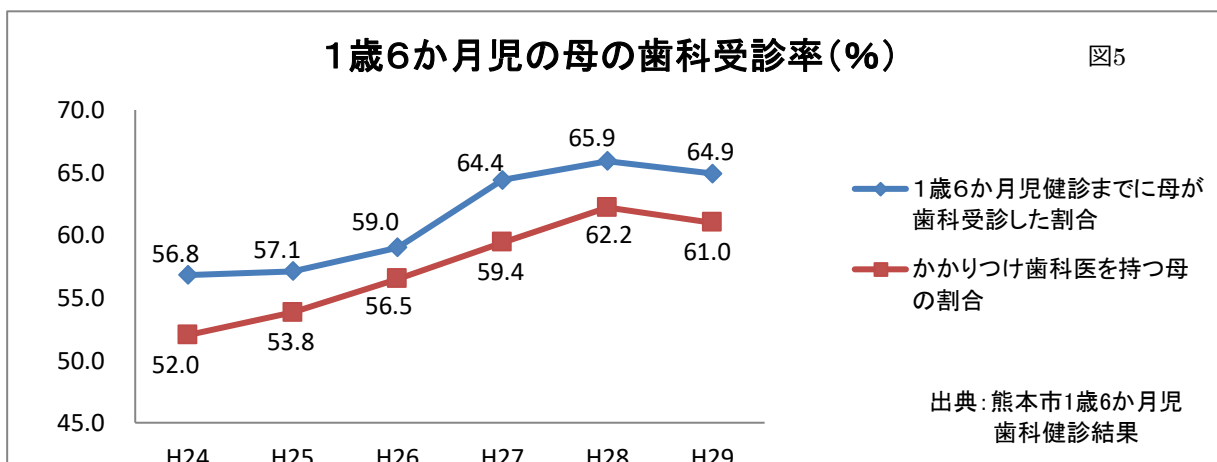
**【指標】**

No.	指標項目	H 23	H29	中間評価 (H30)	目標値 (H34)	最終目標値(案) (H35)
4	1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	97.7%	↑	b	100.0%
5	3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	79.4%	↑	b	90.0%
6	3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	27.8%	↓	c	10.0%
7	3歳児までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	42.5%	↑	b	70.0%
8	フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	48.4%	↑	b	60.0%

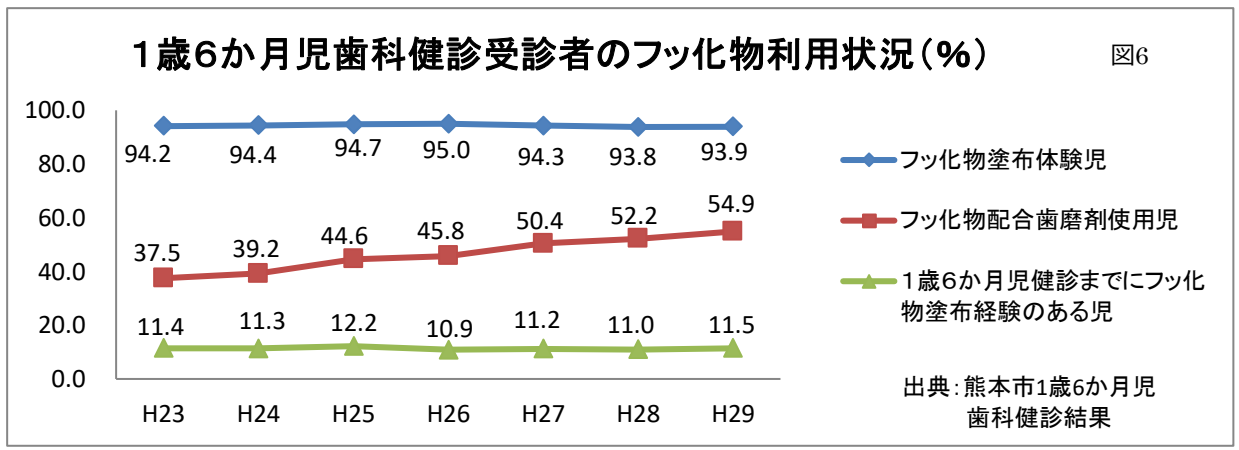
**◆現状**



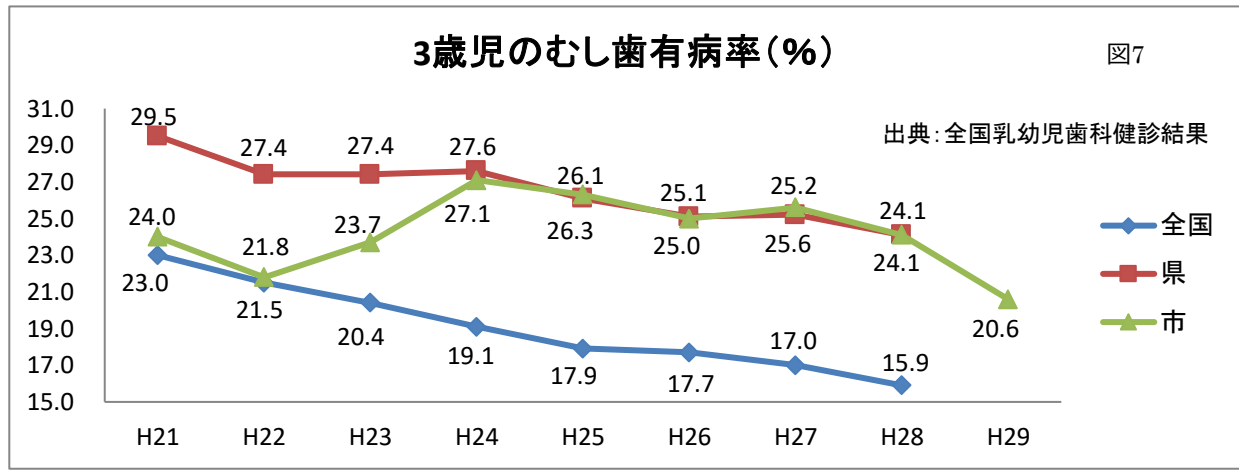
・子どものむし歯は減少傾向ではあるが、平成28年度における1歳6か月児むし歯有病者率は2.8%であり、経年的に県・国よりもむし歯が多い状況である。



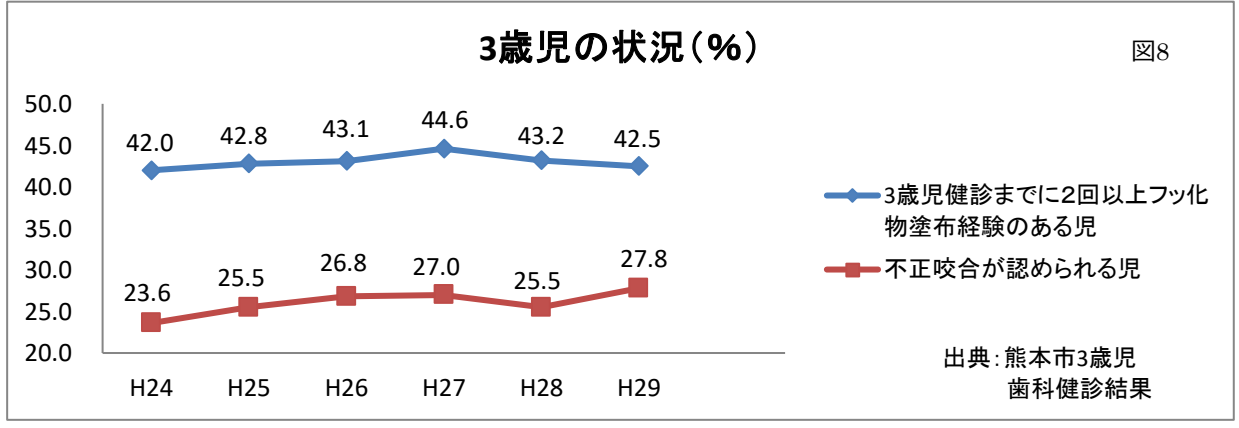
・1歳6か月児の母の歯科受診率及びかかりつけ医を持つ割合は増加傾向であったが、平成29年度は少し減少した。



- ・1歳6か月児健診までにフッ化物塗布を経験した者は約1割であり、1歳6か月健診時にフッ化物塗布の体験希望者は、毎年9割以上である。
- ・フッ化物配合歯磨き剤を使用する児は年々増加しており、半数以上の1歳6か月児がフッ化物を利用している。

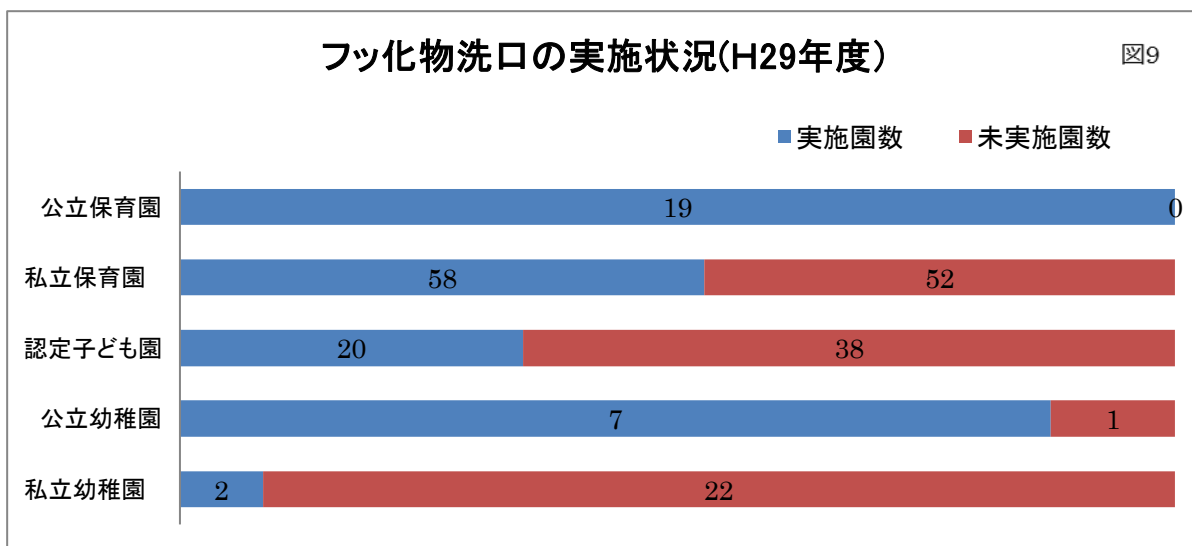


- ・平成28年度の3歳児のむし歯有病者率は24.1%であり、平成27年度に比べ、1.1%減少したが依然、全国平均より多い状況である。



- ・3歳児健診までに2回以上フッ化物塗布を受けた児は、平成27年度から減少傾向である。
- ・3歳児での不正咬合等が認められる者は増加している。

## ○フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園等の状況



・平成 29 年度におけるフッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園等の実施率は 48.4%であり、市内の全保育施設の半数に満たない状況である。

### ◆これまでの主な取り組み

#### 「歯っぴー39（サンキュー）チャレンジ」の推進

歯科保健基本計画の成果指標である「平成 34 年度までに 3 歳児でむし歯のない者を 90%以上に増加する」ことを達成するためのスローガンを「歯っぴー39（サンキュー）チャレンジ」と定め、関係団体と行政による協働の取り組みを実施

#### (1) 歯科の啓発

- ・1 歳の誕生日に送付する「満 1 歳お誕生カード」を活用し、乳幼児期のむし歯予防に関する注意喚起を実施
- ・かかりつけ歯科医による定期的な口腔管理を受け、歯と口の健康づくりに関心を高めるため、「無料歯科健診付き歯科啓発カード」を作成し、関係機関の協力のもとに配布  
(配布先：医療機関、薬局、市役所、区役所、ローソンなど)
- ・「むし歯予防啓発ポスター」などを保育園等の掲示板を利用し、保護者へ啓発

#### (2) 歯科健康教育の充実

- ・むし歯予防研修会の開催  
(対象：①医師会の小児科医、②保育園の看護師、③保健医療専門職)  
(講師：H27 歯科医師、H28 小児科医師)
- ・幼児健診や相談の場におけるむし歯予防に関する情報提供を充実

#### (3) 歯科指導の充実

- ・むし歯予防リーフレットを作成し、医療機関や区役所などにおいて子どもをもつ保護者へ配布  
(医療機関では 7 ヶ月児健診を中心に配布されている)